

## 令和4年度尾張旭市国民健康保険特別会計予算

### 討論要旨 川村つよし議員

新年度の国民健康保険特別会計は、これまで全国知事会や市長会などからも国へ要望が出されていた均等割の軽減について、極めて不十分ながら軽減策が実施されます。

未就学児における均等割が半額に軽減されます。人頭税の性格が強い均等割に対し、国の制度として軽減策が取られたことは歓迎いたしますが、やはり極めて不十分なものであり、引き続き市の独自策として子供の均等割の免除を求めます。

新年度の国民健康保険特別会計について、問題点としてもう一つ指摘をしておかなければならないのは、愛知県の示す標準保険料率に近づけるために、予定どおり国保税の値上げを行う予算となっていることです。

国民健康保険は、担税力が弱い方たちが多く加入する状況にあります。

この間、非正規雇用の方が社保へ加入しやすくなったことで、担税力の低下に拍車がかかりました。言ってみれば、国保以外の政策による影響で、現役世代の自営業者やフリーランスの人たちが国保から抜けて、高齢化の進展以上に担い手が減少する影響を受けています。

愛知県の示すまま連続した国保税の値上げと不十分な均等割の免除について強い批判を示し、この議案に反対するとともに、第20号議案 尾張旭市国民健康保険税条例の一部改正についても併せて反対を表明し、討論といたします。